

鶴川東地区の新たな学校名の選定について

鶴川東地区の新たな学校の校名を検討するにあたって、多くの方から学校名意見募集の回答をいただきました。今後、9月に開催する第8回基本計画検討会において、3案程度に選定することを目標とします。

1 第6回鶴川東地区検討会ワークショップの各グループにおける発言要旨

Aグループ

- 検索したときにこの学校だと特定される名前が良い。
(「鶴川(つるかわ)」を含めることで、検索したときに他の学校がヒットすることがなくなる)
- 地形の特色をとらえたものが良い。
- 意見募集で寄せられた意見の数は参考にしたほうが良い
- 特定の地名を含めることはやめたほうが良い。
(例えば、「能ヶ谷」などを入れてしまうと、新しい学区として鶴川1丁目や広袴が入るので、能ヶ谷以外に住んでいる人がかわいそう)
- ナンバースクールにすると、今の忠生地区の小学校のように将来的に番号が飛んでしまうと、なんでその番号なのかよくわからなくなってしまうので、あまり良くないと思う。
由来がわかる名前にしたほうが良いと思う。
- 今回寄せられた学校名をミックスして考えてもいいのではないかな。

Bグループ

- 「鶴川(つるかわ)」の地名は入れたい。
- 地域的な偏りが無い名前にしたい。
- 自然や緑豊かなことがわかる名前にしたい。
- 地形(丘や坂など)も良いのではないかな。

※当日欠席した委員から頂いたご意見

- シンプルでわかりやすく誰もが簡単に覚えられるものが良いと思う。
(小学校では子ども達や親が学校名を記載することが多くあると感じるので、大人も子どもも書きやすい名が良い。)

2 新たな学校名の複数案選定の流れについて

(1) 今回（第7回（8月））のワークショップ

2グループに分かれてワークショップ形式で意見交換します。

- ①委員の皆さまから、良いと思う学校名を3案程度と、その校名が良いと考える理由をお伺いします。
- ②学校名とその理由をグループ化し、学校名を選定するにあたって大切にすべき考え方について意見交換します。
- ③お伺いした意見内容を整理し、今後、本検討会で学校名を選定するにあたって大切にすべき考え方を共有します。

(2) 次回（第8回（9月））のワークショップ

2グループに分かれてワークショップ形式で意見交換します。

- ①第7回のワークショップで確認した大切にすべき考え方を基に、グループごとに2案程度を選定します。
- ②2グループで選定した案を全体で確認し、鶴川東地区新たな学校の学校名（案）として複数案（3案程度）を選定します。

■参考 教育委員会の学校名選定の考え方について

- ①地名を大切に（地域内の川、山、丘、旧跡等も含む）
- ②難しい漢字は使わず、読みやすく、わかりやすいものとする。
- ③長い学校名とならないようにする。
（例：南つくし野小（5文字7音）
本町田東小・鶴川第一小・鶴川第三小・鶴川第四小（4文字8音）

3 選定後の広報について

複数案選定した後の案は、市民に広く広報し意見を伺う機会を設けます。

【想定している広報】

- ・広報まちだ 10月以降
- ・町内会・自治会回覧板、掲示板 10月以降
- ・ポスター掲示（公共施設、民間施設） 10月以降

4 今後のスケジュール

2022年							2023年	
5月 (第4回検討会)	6月 (第5回検討会)	7月 (第6回検討会)	8月 (第7回検討会)	9月 (第8回検討会)	10月 (第9回検討会)	11月 (第10回検討会)	12月 (第11回検討会)	1月 教育委員会定例会
意見 募集 実施	意見 分類 集計	意見募集 結果確認	複数案選定		複数案に寄せられた意見の共有	複数案広報・PR		1案に 選定

※実線で表記している事項：本検討会で検討。

- ・8月～9月 : 複数案選定作業
- ・10月以降 : 複数案を広報、PR
- ・1月以降 : 教育委員会で1案に選定